

高齢者にとって “住みやすいまちづくり”と“生きがいづくり” ～生活支援体制整備事業について～

☎ 高齢福祉課 (71)2264

安城市は約4人に1人が高齢者という超高齢社会を迎えています。今後、高齢者が安心して暮らしていくためには、地域の支え合いが一層重要となります。住民同士が“お互いさま”という思いを持ち、高齢者が地域の中で気軽に参加できる場を市と地域の皆さんと一緒に考えながら作っていくことが大切です。市では、高齢者の生活支援・介護予防の充実や社会参加の推進を目的として、生活支援体制整備事業を実施しています。生活支援コーディネーターを配置するとともに、協議体(生活支援ネットワーク会議)の開催等を通じて、地域にある資源(サービスやその担い手)の把握や関係者間のネットワークづくりを進めています。

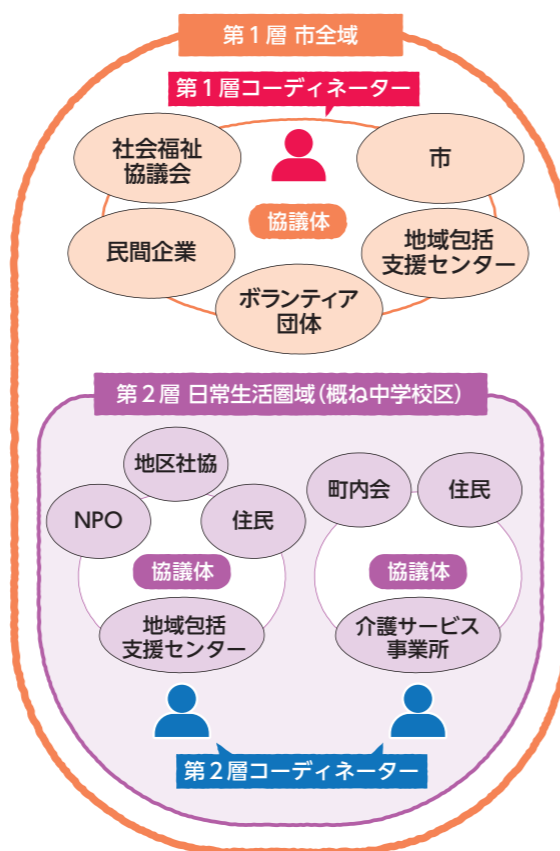
協議体(生活支援ネットワーク会議)とは…

地域での支え合い活動に意欲のある住民をはじめ、企業や事業所、市や社会福祉協議会等に配置された福祉・医療の専門職等で構成され、自分達のまちの課題や今ある資源の共有、地域の支え合いについて考える場です。市に設置する「第1層」と、概ね各中学校区単位で設置する「第2層」に分かれています(右図参照)

- 協議体では下記の①～③について話し合っています。
- ①高齢者が地域で安心して暮らし続けるために、目指す地域の姿や方針
 - ②互いに力を出し合う関係者間のネットワーク構築に関すること
 - ③地域の課題と資源について知り、高齢者が暮らしやすい地域にするために行うべきこと

生活支援コーディネーターとは…

住民・企業・事業所・専門職等の様々な主体と協力しながら、地域の高齢者をはじめとする住民が安心して暮らしていける仕組みづくりの手伝いをしています。地域の様々な活動をつなげたり、組み合わせたりしていく調整役です。市では、第1層は市高齢福祉課に、第2層は市内8カ所の福祉センターに2人ずつ配置しています。



生活支援体制整備事業ではこんな取り組みもしています!

「あんじょうコミュニティBOOK」の作成

地域にある高齢者の通いの場(ふれあいサロン等)の情報をまとめたパンフレットです。市役所や各福祉センター等で配布しています。



地域ささえあい情報交換会(第1層協議体)

高齢者の支援に力を入れている企業や事業所とともに高齢者の生活のニーズや課題を共有し、支えるための仕組みづくりについて話し合っています。



生活支援コーディネーターのとある一日

午前9時～ ボランティアからの電話相談に対応

次回のふれあいサロン(※)の内容に困ってしまって…

(※)高齢者の通いの場

★地域の様々な活動を必要な人につなげます



ハーモニカ演奏をしてくれる方が地域にいますのでご紹介いたしますよ

午前10時～

協議体(生活支援ネットワーク会議)を開催
住民、事業所、医療・介護・福祉の専門職が集まって、買い物に行けない高齢者のための支援について話し合いました

★地域に必要な支援の仕組みを考えます



午後2時～

近くの店舗(生活支援・見守り協力店)を訪問
コロナ禍で外出を控えている高齢者の中で宅配ニーズが高まっていることを伝え、宅配サービスができるかどうか相談しました

★生活支援・見守り協力店に支援を依頼します



午後3時30分～ 地区会

生活支援コーディネーター、地域包括支援センター、市で行う1カ月に1度の打ち合わせ会議。地域で困っている高齢者について情報共有し、支援方法等を検討しました

★関係機関と情報共有し支援方法を検討します



生活支援コーディネーターと一緒にまちづくりに参加しませんか

「地域の活動や集まりに参加したい」「何かの役に立ちたい、活動したい」等、一緒に“住みやすいまちづくり”や“生きがいづくり”への取組みに参加する人を募集しています。気軽に最寄りの福祉センターへ問い合わせてください。

